

令和4年度 春日山原始林・奈良公園フィールドワーク 第1回 概要報告

奈良教育大学研究員 杉山 拓次

実施日：2022年5月14日（土）9:00～14:00

参加者：15名

学生：11名

教職員：杉山、中澤、大西、及川

■実施場所：春日山原始林・若草山

■第1回 春日山原始林の自然と課題（春日山遊歩道北部～若草山）

2021年11月21日（日）9:00～14:00

概要：世界遺産・特別天然記念物にも指定されている春日山原始林。指定された背景と現在も残っている史跡や自然の価値などについて学び、体感しながら歩きます。紅葉の春日山は独特の空気が流れています。遊歩道を抜けた先の若草山山頂からは、奈良公園を一望し、奈良の中心市街地に残されている自然環境について学びます。

9:00 春日大社国宝殿前集合

9:10 水谷神社

10:00 春日山遊歩道（北部）

11:10 五感の体操

11:30 森で寝転ぶ

12:00 葉っぱジャンケン

13:20 若草山山頂・昼食

13:45 若草山下山

14:30 解散

■概要報告

春日山原始林北部遊歩道を若草山まで登るフィールドワーク。第1回目は、参加者がすべて1回生で春日山を歩いたことのある学生はほとんどいなかった。春日山原始林の成り立ちや現状の課題などについて解説しながら歩き、若草山山頂を目指した。点在する史跡や自然について解説をおこないつつ、途中、五感を使ったアクティビティや、森で寝転ぶ体験、ルーペを使って苔や地面の小さな植物を観察する体験、葉っぱを使ったアクティビティ「葉っぱじゃんけん」を実施した。ルーペを使った観察などは、普段経験することがなかったようで、関心が高かった。また、いくつかの葉っぱを集めて実施する「葉っぱジャンケン」では、3グループに分かれて体験であったが、各班で葉っぱをじっくり見ながら意見交換をする様子が伺えた。

道中では、特徴的な植物（ナギ、ギンリョウソウ、スギ、モミ、イチイガシ、コジイ、フジ、テイカカズラ、ウドカズラ）について簡単な説明を交えながら話をした。また雨のため山ビルやカタツムリが発生したので観察したほか、側溝にマムシを観察することができた。若草山山頂では、奈良公園周辺の景観について春日山から奈良公園、近鉄奈良駅までの森のつながりを実感するほか、ナンキンハゼの繁茂状況にも注意を促した。

■写真



五感の体操



森で寝ころぶ



ルーペで苔や植物の観察



マムシ



若草山山頂にて記念写真